

子どもたちに 核兵器も基地もない 平和な日本と世界を

憲法・平和・核兵器廃絶
メールニュース第11号
2011年7月27日(水)
全教・国民共同局

浜岡原発廃炉へ！ 静岡県集會に5000人

23日(土)「浜岡原発の永久停止・廃炉を求める静岡県大集會7・23ひまわり集會」が静岡市の駿府公園で行われ、5000人を超える参加者で大成功しました。



ひまわり日和のなか、静岡県内各地、そして近県から続々と人が集まりました。静岡高教組は42名、全教静岡は21名、そして愛知高7名・長野高6名など、全教の参加者は83名に上りました。さらに、多くのなつかしい顔(退職された方々)も。

静岡のみなさんは、毎週宣伝署名行動にとりくみ、世論を広げてきました。来賓としてあいさつした湖西市長のほかに、焼津市長がメッセージを寄せ、御殿場市長、裾野市長・伊豆市議会議員、御殿場市議会議員が賛同。

熱気あふれる集會のあと、「いらない、いらない、浜岡原発」と唱和しながら市内をパレード。市民にアピールしました。

7月28日の中央行動の午前中には、経済産業省に山口県のみなさんが「上関原発反対署名」を提出するなどの行動も入ります。「原発ゼロ」へ、日本じゅうが大きく動いています。

世界大会まであと10日！ 青年を長崎に送ろう

いよいよ迫ってきました。核兵器のない世界へ、そして原発ゼロに向かって、大きく踏み出す世界大会。この歴史的な2011年世界大会に、すべての県から代表を送りましょう。

京都府高の今年の参加者は10名。なんと、そのうち7名は青年です。

今年の夏、京都府高は、3つの企画をドーンと青年に提案しました。★1つは「被災地にボランティア」、★2つ目は「世界大会に参加して長崎に」、★3つ目は「大飯原発を見に行こう」です。昨年、組合では結成60周年を祝って、記念講演会や「沖縄平和ツアー」に取り組んだそうです。そこに参加して、「知ること、学ぶこと」そして「実際、自分の目で見て、現地に行って肌で感じること」の大切さを実感した青年たちは、今年の組合の大会でも積極的に発言(26人中8人が青年)。青年が、いま動き始めています。大飯原発のツアーでは、京都から目と鼻の先の福井県にある原発を見るのと併せて、小浜で原発建設を許さない運動をずっと続けてきたお寺のご住職のお話も伺うそうです。

長崎の世界大会では、被爆者のお話を聞いて、世界の大きな流れを感じて(国連のドゥアルテ氏が参加!)・・・そして全国の仲間とつながって。さあ、みんなと会うのが楽しみです。